

論 說

資 源・生 産 水 準・研 究

安 藝 皎 一 (土木)

基礎研究から應用研究へ、さらにその實用化とその間における一貫性の保持ということが強く要請されている。そしてこの途は徐々ではあるが、次第に開拓されているといえるであろう。私はこの上にさらに一つの問題をつけ加えた。それは私達の仕事が日本經濟の自立の上にとどのような地位を占めているかということへの理解である。というのは日本經濟の現状はきわめて憂うべき状態にあり、すべてがその回復にかけられなければならないからである。

日本經濟のむつかしさの根本は資源と人口の不均衡にあるのではなからうか。生産總額の内輸出に向けていたものが20%を超えていた日本經濟の海外依存度はきわめて高い。イギリス以上である。私達は生糸を基幹とする對米貿易の入超を對アジア貿易の出超で補つてきた。中國、滿洲への輸出は全額の30%乃至40%を占めていた。今日では米國への生糸輸出はほとんど望みを失い、中國貿易は困難な状態にある。しかも國內にあつては40%の版圖を失い、戦災によつて國富の半を失つた。人口は急増した。恐らく今後15年内には1億人にも達するであろうと推定されている。當分の間毎年100萬人を超える人々が稼働年令にはいつてくる。

もちろん私達は貿易の振興に努力しなければならない。これには手續上の問題と輸送上の障害が今日これを阻んでいることは否めないが、本質的には世界の人々が使える商品を世界價格で造らなければならない。同時に私達はまた貿易勘定をよくするためにその内容を考える必要がある。國內原料に手を加えることによつて輸入原料に代換えることができるならば好ましいことである。例えば棉花や羊毛に代わるものを石灰石から求め得るならば、貿易勘定は樂になるであろう。このような問題は所在に見受けられる。もしこれが可能であるならば、これによつてまた人口の收容力を増すことができるであろう。同時に私達はまた國內資源の保全と其の開發を考えなければならない。何んとなれば、國際關係の現状を考えると、海外依存度の高いということは經濟に不安定さを増すばかりである。國內の開發は國內市場の開拓となり、雇傭の機會を増加するであろう。

今までも私達は無爲に過してきたわけではない。われわれの技術の可能な限りではその任務を盡し、生活水準の向上に資してきたのであつた。例えば水田の反當收量は明治初年に比べると凡そ2倍となり、水力發電は今日迄の環境にあつては世界的な水準に達していたといえるであろう。程度の差こそあれ、恐らく遊んでいるもの、使われていないものは無いであろう。この上に新しい情勢に應ずる環境を造り上げなければならないのであるから、今日迄のようなつもりでは恐らく不可能に近いのではなからうか。事態は複雑であり、容易ではない。水力電源一つの開發を考えても技術的、經濟的、社會的な新しい多くの問題を提起する。このように私達が生きるため解決を要求される問題はきわめて多い。要するに日本經濟の將來は科學者と技術者との双肩にかゝつている。彼等を除く國民大眾の熱意がいかに高くともこれは所せん空しい希望に過ぎないであろう。もししばらくの間でも無爲に過したとしたならば、これに答えるものはデリデリとくる生活水準の低下のみであろう。

第 2 卷

6 月 號 目 次

第 6 號

口 論			
微分解析機.....	渡邊 勝	1	
	三井田純一		
硫安の製造.....	解説 武藤義一	2	
	構成 星野昌一	3	
資源の保全と開發.....	安藝皎一	4	
	井口昌平		
論 說			
資源・生産水準・研究.....	安藝皎一	5	
調 査			
工業分析の進歩.....	武藤義一	6	
硫化鐵の焙燒法.....	東畑平一郎	10	
研 究			
水晶共振子筒を用いた帯域濾波器	高木 昇	16	
の設計圖表.....	尾上 守夫		
電解還元による現像薬の調製.....	菊池 眞一	19	
	本多 健一		
熔融スラッグの電氣化學.....	松下 幸雄	22	
	森 一美		
隨 筆			
電子顯微鏡餘録.....	谷 安正	15	
講 座			
微分解析機.....	渡邊 勝	26	
	三井田純一		
技術史ノート			
インダストリアル・デザイン.....	生産技術史研究室	32	
實驗ノート			
4 自記測微光度計の改良.....		34	
5 簡単な圓形掃引回路.....		35	
速 報			
28 渦ポンプの流動解析 (石原).....		14	
29 引抜き加工中の歪の解析 (鈴木, 吉川).....		18	
30 流体變速機の性能計算 (石原).....		25	
31 流体の粘性が温度により變化することを			
考慮した熱傳達の實驗式 (橘).....		29	
32 二次元塑性問題に關する一考察 (山田).....		30	
33 研削作用の研究 (1)..... (竹中).....		31	
生研ニース・編集後記			